

学校教育目標	<p>○進んで学ぶ子ども(知)…「問題解決力」予想や手順を考え、計画的に追究することができる。</p> <p>○助け合う子ども(徳)…「人間関係形成力」自他を尊重し認め合いながら協力して行動することができる。</p> <p>○たくましい子ども(体)…「実践力」自分のめあてを自覚して、工夫しながら、粘り強く取り組むことができる。</p>	ビジョン	【目指す学校像】	自分らしさが見つかる学校【自分の得意なことを見つけ、自分らしさを伸ばし、表現できる学校】
			【目指す児童像】	はきはたと学ぶ南白っ子【学習意欲が高い子】、わくわくと笑顔の南白っ子【正義感をもつ子】、のびのびと活躍できる南白っ子【活躍できる子】
			【目指す教師像】	身なりを整え、礼儀も覚え、子供のために、学び続ける、教師でありたい！

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	<p>●「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の視点を実現するため、端末の活用を推進し、学力の基礎基本である言語因子や数量因子を確実に身に付け、思考力も高める。(SCの推進・評価・小中と連携しながら)</p> <p>●多様な教育ニーズの対応するため、配慮を要する児童の個に応じた指導を充実する</p>	<p>学習の基礎となる「数量因子」と「言語因子」の定着と向上を図り、児童が習得目標を達成できるようにする。 【基礎・基本を定着させるための全校共通実践】(通常級担任)</p> <p>根拠を明確にした学習を推進し、思考力の向上を目指した授業づくりを推進する。(通常級担任、専科)</p> <p>一人一台端末の活用し府中情報能力を習得させる。(通常級担任、専科)</p> <p>配慮を要する児童に対し、個別の支援シート及び保護者と共有し、個別指導計画の目標達成のための指導を充実させる(特別支援の教育)</p>	①国語[言語事項] 漢字など(期末に実施する言語のワーク)を活用して実施する。	4 継続的に計画を80%実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的にできなかった		4 定着率が平均80点以上だった 3 定着率が平均70点以上だった 2 定着率が平均60点以上だった 1 定着率が平均50点未満だった						
			②東京ベーシックドリルを実施する。算数の「知識・技能」の定着できるようにする。。	4 継続的に計画を80%実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的にできなかった		4 定着率が平均70点以上だった 3 定着率が平均65点以上だった 2 定着率が平均60点以上だった 1 定着率が平均55点未満だった						
			③生活科・理科等(他教科でも)を中心に、根拠を明確にした学習に取り組み、「思考・判断・表現」を向上させる。	4 根拠を明確にした学習はできた。 3 根拠を明確にした学習はほどできた。 2 根拠を明確にした学習はややできなかった 1 根拠を明確にした学習はできなかった		4 根拠を書ける児童が80%以上いた 3 根拠を書ける児童が70%以上いた 2 根拠を書ける児童が60%以上いた 1 根拠を書ける児童が60%以下いた						
			④端末を活用し授業中に児童一人一人の情報習得技能の定着を図る。(2学期以降、自己申告書の授業を含める)	4 計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 60%未満で計画通り実施した		4 授業が分かる児童が80%以上だった 3 授業が分かる児童が70%以上だった 2 授業が分かる児童が60%以上だった 1 授業が分かる児童が60%未満だった						
			⑤配慮を要する児童に学校生活支援シート及び、個別指導計画に基づき、指導を推進し、個に応じた目標を達成できるようにする。	4 計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 60%未満で計画通り実施した		4 目標を達成した児童が80%以上だった 3 目標を達成した児童が70%以上だった 2 目標を達成した児童が60%以上だった 1 目標を達成した児童が60%未満だった						
豊かな心	<p>●豊かな心の育成、自主的・実践的な取り組み特別活動の充実を図るため、体験活動を充実させ、不登校、いじめなどの対応を組織的に行う(SCの推進・評価・小中と連携しながら)</p>	<p>ウイズコロナの中でも、体験活動を改善工夫し、総合的な学習の時間、特別活動等の充実を図る(全教員)</p> <p>不登校・いじめ対策委員会・校内委員会等で配慮を要する児童やいじめの対応策・不登校を考え、実施する(全教員)</p>	⑥年間の学校行事、校外学習、特別活動(縦割り班活動・学級活動)、総合的な学習の時間等をバランスよく位置付け、体験を通して心の交流を図り、共に認め合う気持ちを育てる	4 体験活動の計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 60%未満で計画通り実施した		4 協働して活動する児童が80%以上になった 3 協働して活動する児童が70%以上になった 2 協働して活動する児童が60%以上になった 1 協働して活動する児童が60%未満だった						
			⑦不登校・法に基づくいじめの対応、校内委員会・いじめ対策委員会の充実を図り、配慮を要する児童の問題行動への支援・指導に学級・学年・学校で組織的に対応する(一人で抱え込まない)	4 共有し、組織的に対応することができた 3 共有し、組織的にほぼ対応することができた 2 共有し、組織的にあまり対応することができた 1 組織的に対応することができなかった		4 配慮を要する児童に対応することができた 3 配慮を要する児童にほぼ対応することができた 2 配慮を要する児童にあまり対応することができた 1 配慮を要する児童に対応することができなかった						
			⑧体力向上を図り、学期に2度程度の学校行事・集会活動等を通して、運動や遊びに楽しく参加する児童を増やし、健やかな体を育成する	4 計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 70%以上程度計画通り実施した 1 70%未満で計画通り実施した		4 児童の80%以上が取り組めた 3 児童の70%以上が取り組めた 2 児童の60%以上が取り組めた 1 児童の60%未満が取り組めた						
健やかな体	<p>●「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を図り、体力向上を推進したり、生活習慣の改善を図る指導を実施したりしながら、体力向上、健康の保持増進に取り組む</p>	<p>基本的な生活習慣を身に付け、健康の保持増進に取り組む(全教員)</p>	⑨保健、道徳の時間等を活用して児童自身に、基本的な生活習慣について考え、実践する(生活習慣の振り返り)	4 継続的に計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 70%以上程度計画通り実施した 1 70%未満で計画通り実施した		4 児童の80%以上が実践に取り組めた 3 児童の70%以上が実践に取り組めた 2 児童の60%以上が実践に取り組めた 1 児童の60%未満が実践に取り組めた						
			⑩公務員として適切な私費会計等の執行を行い、計画的に予算の進行管理ができる。(服務事故は起こさないように、お互いにチェック機能強化する)	4 共有し、組織的に対応することができた 3 共有し、組織的にほぼ対応することができた 2 共有し、組織的にあまり対応することができた 1 組織的に対応することができなかった		4 共有し、組織的に対応し、執行ができた 3 共有し、組織的にほぼ対応し、執行ができた 2 共有し、組織的にあまり対応し、執行でなかった 1 組織的に対応し、執行できなかった						
働き方改革	<p>●公務員としての服務する。(会計の適切な運用、予算執行)</p>	<p>●ライフワーク・バランスを推進し、必要な会議・行事・教育課程を見直し、働き方改革を推進する。</p>	<p>⑪主幹教諭・主任教諭は、効率的な校務を意識し、勤務時間外の仕事を月45時間以内にする。(方向性を決めた会議のあり方)定時で公の会議は終わりにする)</p>	4 継続的に計画を90%実施した 3 80%以上程度計画通り実施した 2 70%以上程度計画通り実施した 1 70%未満で計画通り実施した		4 80%以上が実践に取り組めた 3 70%以上が実践に取り組めた 2 60%以上が実践に取り組めた 1 60%未満が実践に取り組めた						